

避難に備えて非常持ち出し袋に入れたい新型コロナウイルス対策備品について 第二版

新型コロナウイルスと災害避難を考える会

日本赤十字北海道看護大学 根本昌宏教授

東京大学大学院情報学環 松尾一郎客員教授

伊勢赤十字病院救急部 森本真之助医師

新型コロナウイルスは、治療薬やワクチンが出来るまで、蔓延と収束を繰り返すとみられています。こうした状況が、今後1年～2年継続するかもしれません。新型コロナウイルスの感染拡大を境に、その前後で私たちの生活形態や隣近所との付き合いも激変しました。この新型コロナウイルスは私たちの社会を大きく変容させた出来事なのです。しかも感染力は強く、高齢者にとっては災害級の出来事です。

一方、毎年のように発生し襲ってくる水害や地震も同様に命を奪うものです。

危険なところに居住している人々にとって、それぞれの災いから逃れる術を知ることが重要です。

水害や地震の際には、最寄りの自治体から、より安全な場所への避難の呼びかけが行われます。その際は、ぜひ下記の新型コロナウイルス対策に使える衛生備品等を非常持ち出し袋に入れておく、または、避難する際に入れるなど「我が身を守る、家族を守る行動」をお願いします。

行政・医療従事者・自治会・町内会・住民ひとりひとりが一体となって、この国難に立ち向かえば、必ずやいつもの安心な暮らしに戻れると信じています。そのために、いま出来る備えをしていきましょう。

(※本書は、災害時の避難を想定し、予め持ち出しに入れておいた方がよいものを取りまとめたものです。

それぞれの状況に応じて取捨選択してください。)

記

1. 新型コロナウイルス対策で非常持ち出し袋に加えたいもの

- ① マスク(ない場合はキッチンペーパーと輪ゴムで作成)

※手作りマスクの作り方参考 <https://www.youtube.com/watch?v=6gF2wuU2e2Q>

- ② アルコール消毒液
 ③ ハンドソープ・固形石けん (家族もしくは自分用を持参・避難所では共用しない)
 ④ 使い捨てのビニール手袋 (ドアノブなど多くの人が触れるものからの接触感染を防ぐため)
 ⑤ 使い捨てのビニールエプロンまたはゴミ袋 (避難所運営を協力する際などに使用)
 ⑥ 体温計 (自治体で用意出来ない場合があるため。使い慣れたものを持参しましょう)
 ⑦ 上履き、スリッパでも可(床からの接触感染防止、滑り止め付き:転倒防止・静音機能)
 ⑧ 持病用の常用薬やお薬手帳
 ⑨ ティッシュ、ウェットティッシュ、ペーパータオル、ポリ袋(通常よりも多めに必要)
 ⑩ 水 (多めに持参を、車などで移動する場合はさらに多めに)
 ⑪ 携帯トイレ (トイレは我慢してはいけません。避難所のトイレが使えない場合に備えましょう)
 ⑫ 住所・氏名および緊急時に知らせるべき親族等の連絡先が記入されたもの

2. 自分のスマートフォンにダウンロードしておきたいもの

- ①市町村のハザードマップ(PDF)
 ②東京防災(PDF) ③東京くらし防災(PDF) 等

3. 問い合わせ先 corona-eva-bihin@community-bosai.jp

以上